

- 大橋広好, 佐々木 豊, 大橋一品. 2006. アカガシの北限. 植物研究雑誌 **81**: 173–187.
- 大井次三郎. 1953. 日本植物誌. 至文堂, 東京.
- 大井次三郎. 1965. 改訂新版日本植物誌 顕花篇. 至文堂, 東京.
- 大井次三郎 (著)・北川政夫 (改訂). 1992. 新日本植物誌 顕花篇. 改訂版. 至文堂, 東京.
- 奥山春季. 1964. 原色日本野外植物図譜 2. 春から初夏の植物 (II). 誠文堂新光社, 東京.
- Sugaya S. 1957. *Spicilegium Sendaicum* IV.

Ecological Review **14**: 229–234.

杉本順一. 1961. 日本樹木総検索誌. 六月社, 大阪.

吉岡邦二. 1956. 東北地方森林群落の研究第5報. カシ林北限地帯の森林群落. 福島大学学芸学部理科報告 **5**: 13–23.

(^a東北大学植物園津田記念館,

^b石巻市

^c大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野)

シロダモの分布と太平洋側における北限 (大橋広好^a, 佐々木 豊^b, 大橋一品^c)

Hiro Yoshi OHASHI^a, Yutaka SASAKI^b and Kazuaki OHASHI^c: The Northern Limit of Distribution of *Neolitsea sericea* (Blume) Koidz. (Lauraceae) on the Pacific Side of Japan

シロダモの分布については宮城県と佐渡島から西 (奥山 1964), 宮城・新潟両県以南 (倉田 1968) あるいは宮城・山形両県以南 (北村・村田 1987) の他に本州 (大井 1953, 1965, 初山 1989, 大井・北川 1992) とだけ示しているものもある. 太平洋側の分布を見ると, 未だ岩手県からの報告はなく, 宮城県が北限地である. 宮城県のシロダモ分布図 (平吹 1990) をみると, シロダモは石巻以南の沿岸地と低丘陵地に広く分布するが, 内陸の数カ所と北限地の気仙沼市とに飛び離れて分布する. 気仙沼市大島 (当時は本吉郡大島村) のシロダモは古くから報告され (木村 1954, 太田 1954), 最近では気仙沼松岩からも記録されている (宮城県植物誌編集委員会 2001). 2005年にわれわれは気仙沼市と本吉町でアカガシの分布を調べた際に, 既知の大島 (北緯38度52分. 本文の緯度は国土地理院地図閲覧サービスの数値を基礎として, 30秒以上を1分に切り上げて分までの単位で示した) と松岩の他にも気仙沼市松崎浦田 (松岩もこの地区に含まれる) (北緯38度52分), 松崎高谷 (北緯38度52分), 赤岩老松 (北緯38度53分) および本吉町大谷小金沢 (北緯38度48分) でもおおよそ海拔60 m 以下の地点ではごくふつうにシロダモが生育していた. これらの地域ではアカガシが天然に自生する地点には必ずシロダモも自生することに気づいた (大橋他 2006). さらに気仙沼市の北, 宮

城県本吉郡唐桑町館 (北緯38度57分) でシロダモの自生を確認した. 新たな北限地である. 1本だけであったが, 高さ約8 m, 胸高直径20 cm, ヤブツバキに混ざって生育していた. その他に唐桑町中井 (北緯38度53分) でも小形の個体1株を確認した. 中井は大島北端のシロダモ生育地よりも僅かに緯度が低い.むしろこの地はシロダモの東限 (東経141度40分) にあたる.

唐桑町のシロダモの生育状態に比べると, 大島においては沿岸地から海拔100 m 位までのアカマツ林, スギ林, アカガシ林などにシロダモが数多く生育し, ほぼ全島に広く分布する. しばしば高木となり, 大島の亀山南南西斜面の熊野沢 (北緯38度52分, 東経141度37分) ではアカガシ林中のシロダモで樹高10 m, 胸高直径36 cm の個体もみられ, 樹高7–8 m の個体は島内でかなり多く見受けられた. 北限の植物とはいえ大島ではシロダモは雑木の一つであり, 道ばたでは切り倒され, 切り株から萌芽が成長しているものをよく見かけた (Fig. 1). 若い萌芽につくシロダモの葉は白みを帯びた赤紫色を呈し, 独特である.

一方, 日本海側では山形県が北限とされている (北村・村田 1987). しかし, 望月 (2000) の「秋田県植物分布図」をみると, 秋田県南西部に1カ所の産地が記録されている. これが天然分布であるならば, ここが日本海側北限であると同時に本州のシロダモ北



Fig. 1. *Neolitsea sericea* (Blume) Koidz. with epicormic branches at Matsuzaki-urata in Kesennuma-shi, Miyagi Prefecture, at the margin of planted *Cryptomeria japonica* forest, altitude ca. 20 m, photo 14 Sept. 2005.

限地となるだろう。この位置は望月の分布図から推定すると象潟（北緯39度10分）辺りではないかと思われる。宮城県の北限地と比較すると、シロダモは日本海側で太平洋側よりも北上している。

シロダモ太平洋側北限地と近隣地の証拠標本リスト：

宮城県本吉郡唐桑町 Karakuwa-cho, 館 Tate, 5 Aug. 1998, Y. Sasaki 98-0351 (TUS)；中井 Nakai, 8 Oct. 2005, Y. Sasaki 05-0158 (TUS). 気仙沼市大島. 大初平 Ôhatsudaira, 十八鳴浜への小道, 28 June 2005, Ohashi & Y. Ohashi 69626 (TUS)；外畑外浜間道路の国民休暇村入口の手前, 13 Sep.

2005, Ohashi, Sasaki & K. Ohashi 69138, 69145 (TUS)；磯草 Isokusa：熊野沢 Kumanosawa, 13 Sep. 2005, Ohashi, Sasaki & K. Ohashi 69109, 69111 (TUS)；要害 Yôgai, 13 Sep. 2005, Ohashi, Sasaki & K. Ohashi 69126 (TUS). 気仙沼市松崎浦田 Matsuzaki-urata, 気仙沼線トンネル南側入り口左側の南斜面, 14 Sep. 2005, Ohashi, Sasaki & Kazuaki Ohashi 69163 (TUS)；松崎高谷 Matsuzaki-takata, 8 Oct. 2005, Y. Sasaki 05-0164, 05-0165 (TUS)；波路上 Hajikami, 岩井崎 Iwaizaki, 7 Oct. 2005, Y. Sasaki 05-0146, 05-0147 (TUS), 杉の下 (御伊勢浜) Suginoshta, 7 Oct. 2005, Y. Sasaki 05-0144.

引用文献

- 平吹喜彦 1990. 森林帯の主要構成常緑樹11種の宮城県における分布状況. 森 洋介 (編). 文部省特定研究宮城県における地域自然の基礎的研究. pp. 59-85. 宮城教育大学.
- 木村有香 1954. 宮城県北部の海岸地帯の植物. 三陸海岸-牡鹿半島-松島学術調査書. 宮城県観光課.
- 北村四郎, 村田 源 1987. 原色日本植物図鑑 木本編 II. 改訂版. 保育社, 大阪.
- 倉田 悟 1968. 日本林業樹木図鑑 第2巻. 地球出版, 東京.
- 宮城県植物誌編集委員会 2001. 宮城県植物目録 2000. 宮城植物の会・宮城県植物誌編集委員会, 石巻.
- 望月陸夫 2000. 秋田県植物分布図 第2版. 秋田県環境と文化のむら協会, 秋田県五城目町.
- 舩山泰一 1989. クスノキ科. 佐竹義輔, 原寛, 亘理俊次, 富成忠夫 (編). 日本の野生植物. 木本 II. 113-123. 平凡社, 東京.
- 大橋広好, 佐々木 豊, 大橋一晶. 2006. アカガシの北限. 植物研究雑誌 81: 173-187.
- 大井次三郎. 1953. 日本植物誌. 至文堂, 東京.
- 1965. 改訂新版日本植物誌 顕花篇. 至文堂, 東京.
- (著)・北川政夫 (改訂). 1992. 新日本植物誌 顕花篇. 改訂版. 至文堂, 東京.
- 奥山春季 1964. 原色日本野外植物図譜 5. 誠文堂新光社, 東京.
- 太田 哲 1954. 主として宮城県下に於ける暖帯林樹種 (照葉樹) の分布と気象要因との関連性について. 宮城県農業短期大学学術報告 1: 82-91.

(*東北大学植物園津田記念館,

石巻市

*大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野)